

購入と仕分け

こちらの厳重資料について、
流出禁止資料となっております。
自己の責任で管理願います。

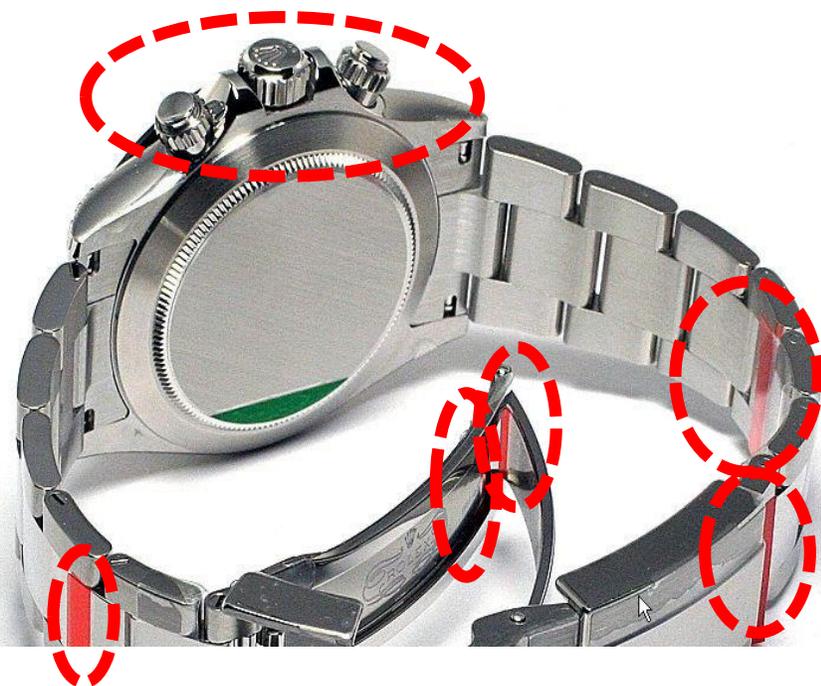
ロレックスを購入した時



- 1 時計
- 2 ギャランティカード
- 3 白タグ
- 4 緑タグ
- 5 冊子 (冊子×2)
- 6 レザーケース
- 7 木箱
- 8 ケース

※これ以外は基本ありません。

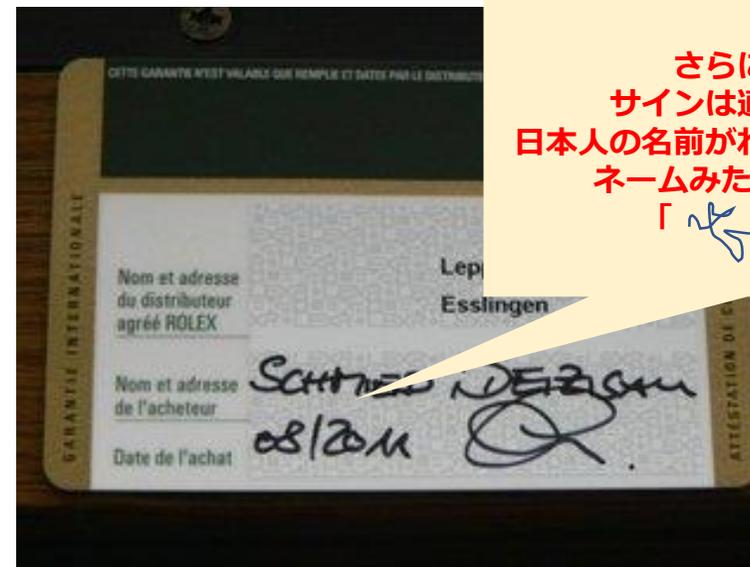
時計購入時（シールの位置）



- 赤シールは5～6箇所：位置も確認すること
- 青の楕円部分の保護シールは剥がされないよう交渉すること
- 剥がされる場合はその保護シールを持って帰ること

※こちら、無い場合はペナルティになる場合がございます。（リタックス分よりマイナス）

重要項目：ギャランティカード（保証書）



さらに重要なのは
サインは適当に書くこと。
日本人の名前がわからないサイン・ペン
ネームみたいな適当なサイン
「」みたいな

ペナルティ無しの場合

- ・フリクションペン（消せる）ペンで書いた
- ・何も書かずに購入できた。

ペナルティ有りのパターン

- ・マジックで書いた
- ・ボールペンで書いた
- ・それでもリタックスを狙うために書いた

※厳重注意：こちら、ペナルティ額は一律4万円（リタックスよりマイナスです。）

商品冊子（間違えてもらわない）

旧

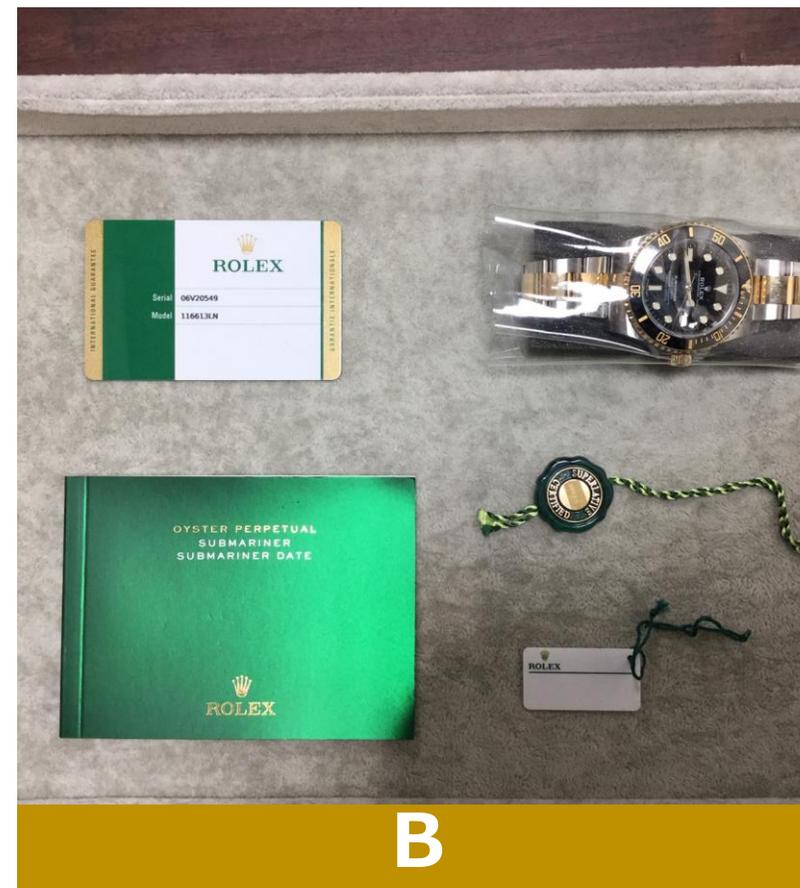
新



- 時計商品の名前の冊子であることの確認
- 旧タイプをもらわない
（手で触ったらエンボス加工のようなものはNG）
- 確実に新タイプの冊子であるかの確認
（緑の綺麗な下のタイプ）

※各商品でだいじょうぶなのかきっちり確認

このA・Bパターンにまずは仕分け



※基本これ以外は本当に要らないので持ち帰らない方がベター（お土産はAの別要員の方へ）

Aの方（ホテルに預けor EMSパターン）



- ・ ベージュユのケース
- ・ 木箱
- ・ 皮のカードケース
- ・ W o r l d … の小冊子

※こちら商品の冊子ではなくworld…の小冊子です。

A_の流れ (EMSの際も丁寧に)



木箱



小冊子を裏に



梱包



全て綺麗に梱包しましょう

またわかりやすいように、箱に紙かなんかで、
デイトナコンビやGMTスチール等を書いた紙を一つに
まとめてもらえてましたら助かります。



ホテルのエントランスで預ける。
キーワードや名刺等で次回組の
バイヤーが取りに来る。

※梱包してどこか一つのホテルに預けてもらえましたら助かります。

Bの方（帰国で個人で持ち帰るもの）



- ・ 時計
- ・ ギャランティカード（保証書）
- ・ グリーンタグ（プラスチック）
- ・ 白タグ（ROLEXと記入）
- ・ 商品冊子（商品名の冊子）

※時計は傷防止のため移動時は、ホテルにあるティッシュ等でぐるぐる巻きにして下さい。）

B_の流れ（帰国時の例）



財布にイン



雑誌にイン



ティッシュにイン



化粧ポーチにイン



※この様に、様々なパターンはありますが、必ず自己管理で大切に保管してください。

帰国時時計とギャランティの入れ替え



グループ内で総入れ替えをして、買った痕跡を残さない、実際にギャランティと時計が違うので何かあってもまず問題ない。もちろん、このときに購入時のレシートやリタックスの紙、店舗（透明のケース・緑の時計入れ）等は絶対にあってはならない。要は、何も痕跡はない。

GMT 2 エアキング	サブマリーナ デイトナ	ヨット デイトナ	エクスプロ ディープシー
ヨット デイトナ	GMT 2 エアキング	エクスプロ エアキング	サブマリーナ デイトナ
サブマリーナ デイトナ	エクスプロ ディープシー	GMT 2 エアキング	ヨット デイトナ

通関時付けてる時計

財布のギャランティ

色タグ・緑タグ

※何か言われても買った痕跡を残さない。堂々としてて良い、箱もない、買った物がない。

時計の通関時（シールは剥げないように！）



このようなリストバンドを経費内もしくはは事故購入願います

※男性は大丈夫ですが女性は腕が細いので、時計内、時計、リストバンドとダブル重ねが推奨

時間差で移動（空港の外で合流）



羽田組（規制・成田より緩い）

基本・一人2本まで

- ・バッグ（海外でのサーフィン用）
- ・私服用な感じで

成田組（規制・厳しい）

基本・一人2本まで

- ・バッグイン（海外でのサーフィン用）
- ・私服用な感じで

※何か万が一あっても他の者の名前を出さない。まず買った痕跡がないから堂々とする。

この様な備品は **NG** (むしろあると危険)



購入したショップでもらった商品や付属品につきましては、ホテルやコンビニや空港のトイレやその他で破棄しましょう。

左の様なものはシンガポールで購入したと思われるために、逆に持っていたら不自然。

※一緒のバッグの中や手提げかばん等に上記の物があってはならない。

最後に

- ・ 時計にだけは傷をつけないように慎重に。
- ・ シールをはがさないように！ 本当にお願ひします。
- ・ ペナルティはバイヤーの心得で
- ・ 移動時は細心の注意を！ 盗難だけは本当に怖い！
- ・ 帰国時の受け渡し場所は追って連絡します。
- ・ 購入店で買ってもらったケース等はあったら逆にダメ！
(完全に捨てましょう・プラケース・時計入れ等)
- ・ 通関時は不必要に店舗に連絡しない
- ・ 阿吽の呼吸です。
- ・ バイヤーと店舗の信頼関係ですね。